

◆避難場所等の図記号の標準化の取組

平成28年3月
内閣府(防災担当)

(1)これまでの経緯

- 災害対策基本法改正により、避難場所は災害種別毎に設定。
- 避難場所等の図記号について標準化を図るため、関係府省庁等において検討し、避難場所等の図記号の標準化を進めることを決定。
- 図記号のJIS制定に向けて、JIS原案作成委員会が図案を作成し、同委員会から経済産業大臣に報告。平成28年3月22日に図記号等をJIS制定。

(2)現在の取組状況

- 国、地方公共団体において、本図記号の周知を図っていく。
- 本図記号の国際標準化を進めていく予定。

○災害種別図記号

災対法の 災害種類	JIS制定された 災害種別図記号
津波	津波・高潮 (従来の図記号も活用 一般図記号も作成)
高潮	
洪水 内水氾濫	洪水 内水氾濫
崖崩れ 土石流 地滑り	崖崩れ 地滑り
	土石流
大規模な火事	大規模な 火事
地震	起きる災害(津波、大規模な火事 等)でカバー
火山	シェルターなどに避難するため、 それらの周知を実施

(参考: JISで制定済みの図記号)



○避難場所の表示方法(イメージ)
「避難場所+災害種別を併記」

